

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切ってください。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、アドヴェント（紫＝悔い改め）、クリスマス（白＝栄光・喜び）、エピファニー（緑＝恵み・希望・成長）、「待降節」（紫＝悔い改め）、「降誕節」（白＝栄光・喜び）、「公現節」（緑＝恵み・希望・成長）、「受難節」（紫＝悔い改め）、「受難日」（赤＝血・贖罪）、「陰府下り」（黒）、「イースター」（白＝栄光・喜び）、「ペンテコステ」（赤＝火・力）、「神の国節」（緑＝恵み・希望・成長）、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

カウンセリング・教会紹介

各キャンパスでは、宗教主任が個人相談に応じ、また教会紹介などを行っています。希望者は、下記オフィスアワーにどうぞ遠慮なくおいで下さい。教会紹介は宗教センターでも随時行っています。

【青山キャンパス】

担当者	研究室	オフィスアワー
伊藤 悟	間島記念館1階	(木)13:20~15:00
シュエポール	//	(金)13:20~15:00
大島 力	8号館817	(火)13:30~15:00
塩谷 直也	間島記念館3階	(火)11:30~12:30
高砂 民宣	//	(月)13:30~15:00
シロマイク	//	(火)13:00~14:00
森島 豊	//	(水)13:30~15:00

宗教センター：間島記念館1階 TEL 03-3409-6537

【相模原キャンパス】

担当者	研究室	オフィスアワー
福嶋 裕子	C棟(チャペル)2階	(水)12:30~13:30
大宮 謙	//	(木)13:30~15:00
David Reedy	//	(水)13:30~14:30

宗教センター：C棟(チャペル)1階 TEL 042-759-6009

青山学院大学礼拝週報

2014. 5. 5.
No. 5

復活節第3週

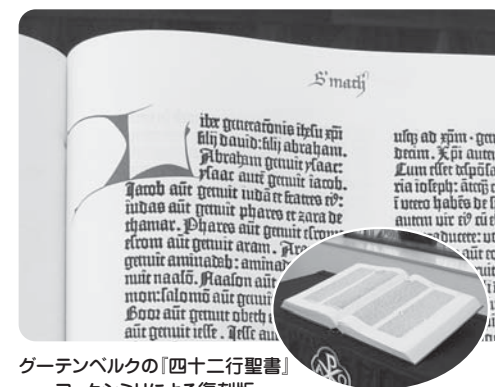
聖書の人々 [35]

「マグダラのマリア」 Mary Magdalene

イエスに従って行動する集団には、12弟子のみならず女性の弟子たちもいたと考えられています。そのうちの一人がマグダラのマリアです。マグダラとはおそらくガリラヤ地方の地名であり、その出身であるマリアは、ある時イエスと出会い、一行に従っていくこととなりました。

ルカ福音書によると、彼女は「七つの悪霊」をイエスに追い出してもらい、それで降イエス集団の一員として行動を共にしています。また、イエスが十字架にかけられた時も、遠くからその様子を見ていた女性たちの一人に数えられています。

最も印象的な場面は、復活のイエスとマリアとの出会いです（ヨハネ福音書 20:11以下）。マリアは、イエスを葬ったはずの墓に遺体がないことに驚き、深く悲しみ墓の外で泣いていました。しかし、その背後からイエスの「マリア」という呼びかけを聞きます。マリアは「ラボニ」（「先生」の意）と応答しました。イエス・キリストとの人格的な関係が死をも超えて回復された瞬間でした。



ゲーテンベルクの「四十二行聖書」
ファクシミリによる復刻版

（宗教センター蔵：相模原キャンパスウエスレー・チャペルに展示中）
写真は新約聖書マタイによる福音書第1章部分

今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

（コリントの信徒への手紙 二 第1章12節）